

# 青春の疾走は止まらない・・・



青春は予想外の方向へ



文化のまちづくりセミナー第15弾 プレ企画  
●ゆめプラワンコイン映画会●

2本立て

上映時間  
▶ 走れ! 走れ走れメロス 53分  
▶ メロスたち 76分

あれから1年 —  
「オレだけ演劇やってて良いんですかね」  
それぞれの「選択」の時間が近づいていた。  
観る者の青春を呼び覚ますドキュメンタリー



“好きなこと”に出会った高2の夏。  
筋書き通りにいかない彼らの物語は、  
誰も予想しなかった結末へと転がりだす！

— 思わず目頭が熱くなる。 —  
生徒数約70人、島根県で一番小さな県立高校が舞台。劣等感をかかえたり、対人関係が苦手だったりする子どもたちがたくさん集まってくるその学校で、演出家でもある亀尾教諭が、最初から演劇をやりたいかったわけでもない男子高生4人と、高校演劇の大会を目指す。柔らかく自然体の亀尾先生と演劇を通して、4人の生徒たちが自ら少しずつ変化していく姿に、地域に演劇があること、そして場所があることの意味を考えさせられる。

2025年 1月13日 月祝

- ① 14:00 開演 (13:30 開場 16:20 終演予定)
- ② 18:30 開演 (18:00 開場 20:50 終演予定)

ゆめたろうプラザ (武豊町民会館) 響きホール (全席自由)

チケット料金 ¥500 未就学児入場不可

チケット発売日 2024年 11月16日(土)  
チケット取扱い ゆめたろうプラザ (武豊町民会館)

※ 電話予約は 11/17 (日) からゆめたろうプラザ (代金引換郵便の申込みは 12/22 (日) まで)  
※ 車椅子席エリア、音声磁気ループエリアの申込みは 12/26 (木) まで



ゆめたろうプラザ開館 20 周年記念事業  
文化のまちづくりセミナー第15弾



平田オリザ氏講演会  
「文化でつながる社会」

日時 2025年 2月 8日 (土) 14:00 開演  
場所 響きホール (全席自由)  
参加費 無料  
申込み 2024年 11月 16日 (土) から  
ゆめたろうプラザ

講師：平田オリザ  
今もっとも注目されている国際的な劇作家・演出家。  
日本をはじめフランス、韓国、中国、ベルギーなど国内外の劇場で、数々の演劇やオペラ公演の脚本、演出を手掛けるとともに小中学校の教科書への教材の採用、障がい者とのワークショップ、自治体や NPO と連携した総合的な演劇教育プログラムの展開など多角的な演劇教育活動を展開している。様々な大学で教授職を歴任し、2021年 4月より、演劇と観光を学べる日本初の公立大学「芸術文化観光専門職大学」の学長に就任。

主催 NPO たけとよ・武豊町教育委員会





# 駆け出した青春は止まらないー “好きなこと” に出会った高校生たちの物語

演劇にはじめて触れた島根の高校生4人と顧問の奮闘を追ったドキュメンタリー



全校生徒70名。島根県にある最も小さな県立高校、三刀屋高校掛合分校で、4人の高校生たちがはじめて演劇を始めた。「対人関係が少し苦手」「ずっと机に向かうのも得意じゃない」「熱中できるものなんてない」など、それぞれの劣等感と向き合いながら、演劇に魅せられている4人。そんな彼らが、担任の亀尾佳宏と共に初舞台に選んだ題材は、太宰治の名作「走れメロス」だった。意気揚々と高校演劇の地区大会に挑戦する高校生たちだったが、本校である三刀屋高校のレベルに圧倒された上、コロナ禍により無観客での開催になってしまう。「満席の会場で演劇やりてえな」――。県大会に出場できず、誰にも見てもらえないまま幕を閉じると思われた高校生たちの青春。しかし、筋書き通りにいかない彼らの物語は、誰も予想しなかった結末へと転がりだす！

第14回下北沢映画祭で審査員特別賞をはじめ四冠を受賞したほか、うえだ城下町映画祭実行委員会特別賞受賞、東京ドキュメンタリー映画祭2022入選など、全国各地の映画祭で話題の本作。監督の折口慎一郎は、「コロナ禍でも、青春は奪えない」と彼らのひたむきな姿に惚れ込み、今も高校生たちの“その後”を追い続けている。困難な時代にあっても“好きなこと”と出会い、その魅力に没入していく高校生たちの存在自体が観る者それぞれの思い出と共鳴していく体験型ドキュメンタリー！

ドキュメンタリー映画『走れ！ 走れ走れメロス』

監督・編集：折口 慎一郎

出演：曾田 昇吾、常松 博樹、石飛 圭祐、佐藤 隆聖／亀尾 佳宏



太宰治の小説「走れメロス」を基にした創作舞台『走れ！ 走れ走れメロス』が、コロナ禍にもかかわらず予想外の評価を得た島根県の掛合分校演劇同好会。しかし、演劇の世界に導いた顧問は異動し、4人だけのメンバーも3年生に進級。それぞれ進路を決める中、曾田昇吾は1人で中国大会の舞台に立っていた。「オレだけ演劇やっけていいんですかね」。卒業が近づいていた。

演劇と出会い、舞台に立つことの喜びを知った高校生たちをカメラに収めたドキュメンタリー映画『走れ！ 走れ走れメロス』は、2022年の下北沢映画祭コンペティション審査員特別賞など四冠のほか、うえだ城下町映画祭自主制作映画コンテスト実行委員会特別賞や「地方の時代」映画祭市民・学生・自治体部門で優秀賞を獲得。その後、劇場公開を果たした。続編新作にあたり『メロスたち』では、高校卒業を控え孤独や葛藤、焦燥を抱える彼らそれぞれの「選択」を軸に物語が動いていく。

ドキュメンタリー映画『メロスたち』

監督：折口慎一郎

出演：曾田 昇吾、常松 博樹、石飛 圭祐、佐藤 隆聖／亀尾 佳宏

ゆめたろうプラザ開館 20 周年記念事業

文化のまちづくりセミナー第 15 弾

## 平田オリザ氏講演会 「文化でつながる社会」

文化が私たちの生活と社会をいかに豊かにし、異なる立場や価値観を超えて人々を結びつけるか。演劇や文化の視点から、社会をつなぐ力を再発見する。

日時 2025年2月8日(土) 14:00 開演

場所 響きホール (全席自由)

講師 平田オリザ氏 (劇作家・演出家)

参加費 無料

申込み 2024年11月16日(土) から ゆめたろうプラザ

講師：平田オリザ

今もっとも注目されている国際的な劇作家・演出家。

日本をはじめフランス、韓国、中国、ベルギーなど国内外の劇場で、数々の演劇やオペラ公演の脚本、演出を手掛けるとともに小中学校の教科書への教材の採用、障がい者とのワークショップ、自治体や NPO と連携した総合的な演劇教育プログラムの展開など多角的な演劇教育活動を展開している。様々な大学で教授職を歴任し、2021年4月より、演劇と観光を学べる日本初の公立大学「芸術文化観光専門職大学」の学長に就任。

